

No.148

そとくうん



昭和51年12月15日創刊

宮城県登米農業改良普及センター
～人と技術が織りなす活力ある登米農業～

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL (代)0220-22-6111 FAX 0220-22-7522
E-mail: tmnokai@pref.miyagi.lg.jp
URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>



○トピックス

- ・女性農業者のための農業機械研修会
- ・米づくり推進登米地域本部稲作研修会
- ・登米地域スマート農業推進セミナー
- ・竹駒産業文化賞受賞
- ・園芸特産研修会について

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

プロジェクト活動の紹介

No.1 加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築

加工用ばれいしょ栽培に取り組む「登米ぼてと組合」を対象に、品質向上および安定生産、生産基盤の強化を図るため、関係機関と連携し、生産者主体による中・長期計画策定や栽培技術向上に向けた組合活動を支援しました。

○組合活動・体制構築支援

現地検討会では、ばれいしょの生育や病害虫の状況を踏まえ、防除や収穫時期について情報共有を行いました。また、今後のばれいしょ生産に関する会議を開催し、中・長期計画策定に向け、出荷体制の整備や面積拡大・新規栽培者確保など、ばれいしょの生産振興に向けた取組方向について、組合員および関係機関と検討しました。

○栽培技術向上支援

適期定植に向けた萌芽処理・種芋切りの指導や、定植後の個別巡回による排水対策、培土の適期作業を促すとともに、生育状況に応じて葉面散布による追肥や病害虫・雑草防除について指導しました。

○技術・経営評価支援

生育調査や比重調査、品質調査により得られたデータに基づき評価、要因分析を行い、次作以降の品質向上に向けた対策を指導しました。また、組合員ごとに作業工程の振り返りを実施し、各種技術対策の費用対効果について検証を促しました。



現地検討会の様子（7月）

No.2 農地整備を契機とした地域営農構想の実現

登米市中田町の上沼桜場地区は、農地整備事業（受益面積51.5ha）の令和8年度採択希望地区で、新規設立予定の1法人を含む4法人を担い手として位置づけ、農地の集積・集約化や高収益作物として加工用ばれいしょ等の導入が計画されています。

普及センターでは、担い手の法人設立や高収益作物の安定生産等を関係機関と連携し支援しました。

○法人設立支援

税理士や社会保険労務士等の専門家派遣、さらには先進的な経営体の視察研修等を通して課題解決の支援を行い、令和8年1月には新たな法人が設立される見込みとなりました。

○高収益作物の栽培支援

加工用ばれいしょの安定生産に向け、生育調査や検討会等を適宜開催しながら、栽培技術の向上を支援しました。これまでの取組により安定した収量・品質が得られる見通しが立ち、令和8年度は更なる作付拡大が計画されています。



加工用ばれいしょの収穫作業

No.3 環境負荷低減型水稻乾田直播栽培技術の確立

令和6年11月、「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」において、新たに乾田直播栽培での農薬および化学肥料の節減栽培基準（農薬成分10成分以下、化学肥料由来窒素6kg/10a以下）が設定されました。管内では、乾田直播栽培でも環境保全米として適用に向けた取組の機運が高まっています。しかしながら、農薬成分や化学肥料の使用量が制限されるため、雑草防除や肥培管理などが難しくなります。

そこで、新たな基準に則した展示ほ場を2農業法人を対象に設置し、課題解決へ向けスマート農業技術も活用した栽培技術支援を行いました。

○施肥および除草体系の検証

新たな基準に則した展示ほ場では、アプリを活用した雑草管理や肥培管理などの栽培技術支援を行いました。収量・品質調査の結果、移植栽培の環境保全米（Cタイプ）とほぼ同等の収量・品質を確保することができました。

○省力化技術の導入・活用支援

栽培管理システムを活用し、AI解析による適期防除の情報提供、衛星画像から推定される生育状況と生育調査結果を対象法人と情報共有しました。また、可変施肥による生育の均一化の検証を行いました。収量調査の結果、地力が低い場所は施肥量を多めにしたものの生育後半に肥料切れが見られ、精玄米重は少なくなりましたが、可変施肥を実施しなければさらに減少したのと思われる。



可変施肥実施ほ場の生育マップ（8月16日時点）

女性農業者のための農業機械研修会を開催しました

令和7年11月14日に登米市中田町において、普及センターと登米市内の女性農業者グループ（アグリレディースネットとめ）が主催する農業機械研修会が開催されました。グループ会員や女性の新規就農者など10人が参加し、農業機械の基本的な操作やメンテナンスについて学びました。

当日は、本県と農業分野に関する連携協定を結んでいる「株式会社クボタ」の関連会社「クボタアグリサービス株式会社」が講師を務め、最新式のミニ耕運機を操作しながら耕うん、土寄せ、草刈りなどの安全な作業方法を学びました。これまで農業機械について学ぶ機会も少なく自己流で操作していた方や、機械に苦手意識を持つ方もいましたが、講師からマンツーマンで丁寧に教えていただいたことで、かなり自信をつけた方もいたようです。

今後、他の農業機械にも興味を持ち、操作技術を習得していただくことで、女性農業者の活躍の場がますます広がっていくことが期待されます。



機械の操作を学ぶ参加者

米づくり推進登米地方本部稲作研修会を開催しました！

令和7年12月17日に登米合同庁舎において「令和7年度宮城県米づくり推進登米地方本部稲作研修会」を開催し、管内の生産者及び関係機関36人が参加しました。

農研機構東北農業研究センターの講師からは水稲乾田直播栽培の導入におけるメリットや押さえておきたいポイントを分かりやすく講演していただきました。また、病害虫防除所の担当者からは、近年の高温で発生が増加している斑点米カメムシ類について、特に大型種の生態等について説明がありました。普及センターからは、プロジェクト課題として取り組んでいる環境負荷低減型の乾田直播技術について、今年の試験結果を紹介しました。

また、今年の夏は少雨だったこともあり、限りある水を有効活用する「飽水管理」の実施について呼びかけました。

参加者からは、乾田直播の雑草防除適期の見極めに関する質問や、今年は大型のカメムシを多く見かけたとの意見が出され、課題認識やその解決に向けた意欲がうかがえました。



研修会の様子

令和7年度登米地域スマート農業推進セミナーを開催しました

令和7年12月24日、中田町農村環境改善支援センターを会場に、登米市及び登米農業改良普及センター共催で「令和7年度登米地域スマート農業推進セミナー」を開催しました。



セミナーの様子

当日は生産者、関係機関含め約50人の参加があり、普及センターからはスマート農業技術の導入にあたっての導入効果の実証事例を紹介しました。また、株式会社ISEKI Japan 東北カンパニーとクボタアグリサービス株式会社及び株式会社クボタから講師をお招きし、営農管理システムの「アグリノート」と「KSAS」について、活用事例紹介や操作方法のデモンストレーションなど、未導入者へ対しても分かりやすく説明していただきました。さらに、近年導入の増えているドローンと営農管理システムの連携についても説明があり、生産者の関心も高い様子でした。

労働力不足への対応や作業の省力化・労力軽減、生産性の向上へ、今後ますますスマート農業技術の導入が不可欠となっています。その中で、営農管理システムは効率的な営農管理や経営判断の高度化に重要であり、営農管理システム導入のきっかけとなるセミナーとなりました。

竹駒産業文化賞を受賞されました

竹駒神社（岩沼市）が、郷土の農林水産業等産業振興に功績のあった個人や団体に授与する第70回「竹駒産業文化賞」に、豊里町の佐々木金三氏が農業（個人）の部で選ばれ、令和7年11月23日、竹駒神社で授賞式が行われました。

佐々木氏は、平成13年にJAみやぎ登米豊里稲作部会の立ち上げに関わると同時に副部会長を務め、その後、部会長として地域の稲作のけん引役として中心的な役割を果たしてきました。また、「環境保全米こだわりのササニシキ復活プロジェクト」に取り組み、高品質なササニシキの生産およびササニシキブランドの復活に大きく貢献してきました。

令和7年12月2日に佐々木氏が宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所を表敬訪問され、「引き続き高品質なササニシキの生産に努めていきたい。」と今後の稲作への意気込みを述べられました。



竹駒産業文化賞を受賞された
佐々木氏（中央）

「令和7年度宮城県花き品評会・令和7年度宮城県りんご品評会」 ～各賞受賞おめでとうございます!～

令和7年10月17日（金）、宮城県花き品評会がせんだい農業園芸センター（仙台市若林区）を会場に開催されました。また、11月27日（木）には宮城県農産物品評会（果実（りんご）部門）が宮城県庁で開催されました。

登米管内からは花き5点、りんご1点が出品され、審査の結果、下記3点が入賞をされました。今夏の高温・渇水という厳しい環境の中、素晴らしい農産品を出品いただき御礼申し上げます。受賞されました皆様にお祝い申し上げます。



（受賞した農産物左から千葉氏（りんご）、佐藤氏（スプレーぎく）、伊藤氏（ルクリア）

部門	品目名	品種名	順位	地域	氏 名(敬称名)	備 考
果樹	りんご	フェニックスふじ	1 席	中田	千葉 隼人	宮城県知事賞(1等)
花き	スプレーぎく	セイエルナ	銀賞	中田	佐藤農園(受賞者名：佐藤 秀夫)	
花き	ルクリア	スイートルビー	銀賞	迫	若葉園芸(受賞者名：伊藤 貴和子)	

「土壌分析をご活用ください!」

皆様の農業経営の安定と生産性の向上を支援するため、普及センターでは農産物を販売している方に対して土壌分析を無料で実施しております。この分析結果に基づいた施肥設計を行うことで、肥料のムダをなくし、より良い作物の生育環境を目指せます。ぜひ、次期作の準備にご活用いただき、計画的な営農にお役立てください!

希望する方はこちらまでご連絡下さい。(TEL. 0220-22-6127)

令和7年度 登米地域園芸特産推進研修会を開催します

最近の園芸生産を巡っては、肥料・農薬をはじめとする生産資材の高騰や夏季の高温、局所的豪雨などの気象変動の影響等による生産性の低下が懸念されています。

これら環境変化に対応するには、適正な施肥管理や効率的な病虫害防除、ほ場の排水対策などの基本技術の励行が重要であるため、これら技術を学ぶための研修会を開催します。

◇日 時 令和8年2月13日（金） 午後1時15分から午後3時30分まで

◇場 所 登米合同庁舎 2階 203会議室

◇内 容 (1) 土壌肥料の基礎知識と化学肥料削減の取組について

(2) RACコード（農薬の作用ごとに分類された国際的コード）を活かした効率的な病虫害防除について

(3) 露地園芸の生産性向上のための排水対策について



どなたでもご参加いただけます。参加希望の方は登米地域事務所農業振興部地域調整班（TEL.0220-22-3535）までご連絡ください。